

秋の終盤。 地域の方の心遣いに感謝いたします。 Vol.8

11月7日の土曜日は、暦の上での「立冬」でした。立冬といえば冬の始まりです。先週からの世界情勢を見ると、ヨーロッパで新型コロナウイルスの第3波の襲来があったり、米国では大統領選挙が行われ政権交代が行われる現状になったりと、私たちの日常生活にも少なからず変動が起こりそうな年末を迎えようとしています。新型コロナウイルスで言えば、日本国内でも感染者が増加しており、大阪も例外ではありません。あらためて、手洗いの励行やマスクの着用、十分な睡眠など、健康管理に続けて留意していきましょう。

校長室に生けられた、白いスプレーマム（小菊）とピンクのカーネーション。心が和らぎます。朝の9時過ぎに来校されて、さっと生けて、帰られました。

話は変わりますが、自宅からスイセンとチューリップの球根を持って来ました。用務員さんに校内に植えてもらいます。早春3月～4月が今から楽しみです。

→



←

先週の午前中、校舎4階の廊下から撮った北摂の山の景色です。この日は、雲一つない秋晴れの日でした。また、その後も幾日かこのような日が続きました。日中は、エアコンの要らない一年の中で一番過ごしやすい時期ですね。

学校では、20分休みに、大勢の子どもたちが先生と、鬼ごっこをして、元気に走り回る姿がよく観られています。

児童下足室前の廊下の角に生けられた、白いスプレーマム（小菊）とピンク色のスプレーマム（小菊）。ピンク色の方は花の中心が赤く染まっているように見え、温かみがあり、やさしい感じです。後ろのおおむらさき色のリンドウの花は今年はこれで見納めかな？寂しいです。ヤブサンザシの丸い小さな実は、秋が深まり、オレンジから赤に変わりました。

→



花を愛でる。季節を愛でる。

環境づくり=人づくり。感謝しております。